

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-002
地域資源名	飛騨の木製家具	認定日	平成19年10月12日
地域	岐阜県高山市、飛騨市	所管省庁	経済産業省

事業名：飛騨の木材を活かす「三次元圧縮技術」と世界的工業デザイナーとの共同による家具の製造・販売

会社名：飛騨産業株式会社

所在地：岐阜県高山市名田町1丁目82-1

連絡先：TEL：0577-32-1001
FAX：0577-34-9185

H P：http://www.kitutuki.co.jp

事業概要(新たな活用の視点)

- ・飛騨産業(株)は、木工メーカーとして80年余にわたり「飛騨の家具」の特徴である曲木技術を駆使した家具作りに取り組んできた。
- ・柔らかく、一般的に家具には適さないと言われる“杉”に注目し、曲木技術を応用した“三次元圧縮技術”を大学研究機関等の支援のもとに開発し、“杉”を木製家具づくりに適した素材へと変身させることに成功した。
- ・同時に日本の固有種で戦後大量に植林されたまま放置されている杉を有効に活用することにより、地球環境への貢献も可能となる。
- ・岡田社長がイタリア工業デザイン界の巨匠エンツォ・マーリと出会い、彼のデザイン哲学に大きく共感、杉という和の素材で世界に向けた日本発の家具をぜひ開発して欲しいと依頼、「HIDA」シリーズが誕生した。



【杉材の圧縮サンプル(左から原板、30%圧縮、50%圧縮、70%圧縮)】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・高い木工加工技術(曲木技術・圧縮加工技術)。
- ・業界では長期の10年保証、トヨタ生産方式導入による生産性の向上。

◆市場性

- ・家具市場全体が縮小傾向にあるものの、木製家具、特に脚物家具分野の販売量は堅調に推移。
- ・価格以上にデザインや品質などの“こだわり”を重視するミドルエイジから団塊の世代の高所得者層に対する市場が見込まれる。

◆販路

- ・既存基幹店(表参道ヒルズ)での取り組みに加え、卸売・百貨店(東急ハンズ等)への展開を行うと共に、平成19年5月開催の世界5大家具見本市の1つであるニューヨークICFF2007への出展を機に海外展開も考慮。

【座面を3D圧縮加工
→人間工学的観点による理想的な座の姿勢が可能】



【“HIDAブランドのロゴ”】



【ICFF2007 で高い評価を得る】



【表参道ヒルズ店】

地域資源における関係事業者との連携

- ・本事業で使用する材料(飛騨の杉)の確保は、飛騨・高山森林組合等と安定供給体制を構築
- ・当社の技術顧問に岐阜大学教授を招聘すると共に、岐阜県立生活技術研究所の支援を受け、評価試験等を行っている。